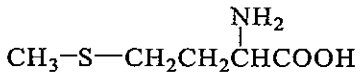
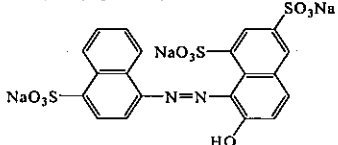
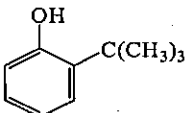
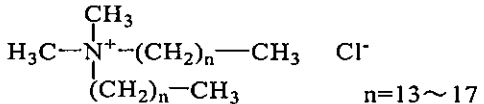
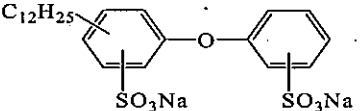
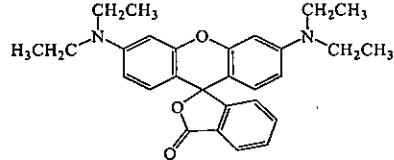


K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 (0内は既判定)	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1823	DL-メチオニン (59-51-8) 2-1254 	BOD 72, 79, 92 (81) TOC 78, 81, 86 (82) HPLC 84, 89, 95 (89)			良分解性	なし	1
1824	トリナトリウム=7-ヒドロキシ-8-(4-スルホナフ ルアゾ)-1,3-ナフタレンジルスルホナート (2611-82-7) 5-1495 	BOD 3, 5, -1 (2) TOC 1, 2, 2 (2) HPLC -1, 1, 0 (0)	有機物質の塩 であるため測 定不可  1.63*1	1区: 0.55倍以下 2区: 5.6倍以下  脂質含有率 開始前 3.92% 終了後 4.65%	難分解性 高濃縮性では ない	なし	2
81C	2-tert-ブチルフェノール (88-18-6) 3-0503 	審議済（難分解性） (平成19年7月27日) BOD: -3, -4, -4 (0)*2 TOC: 35, 40, 25 (33) HPLC: 32, 39, 23 (31) 被験物質の一部が試験液から炭酸 ガス吸収剤に移行した。	3.74*3 (pH4.0)  3.42*1	1区: 62倍 2区: 78倍  脂質含有率 開始前 4.15% 終了後 3.77%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	5
663A	ビス（水素化牛脂）ジメチルアンモニウム=クロリド (61789-80-8) [1-251] 2-0184 	審議済（難分解性） (平成14年7月23日) BOD: -3, -3, -2 (0)*2 HPLC: 17, 17, 17 (17)	有機物質の塩 であるため測定 不可  8.44(n=13)*1 12.37(n=17)*1	1区: ピーク1 130倍 ピーク2 85倍 ピーク3 45倍 2区: ピーク1 280倍 ピーク2 190倍 ピーク3 110倍  脂質含有率 開始前 3.04% 終了後 3.38%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	8
1638	ドデシルジフェニルオキシドジルスルホン酸ナトリウム (28519-02-0) 3-1968 	審議済（難分解性） (平成16年5月28日) BOD: 2, 2, 3 (2) HPLC: 5, 5, 4 (5)	有機物質の塩 であるため測定 不可  3.31*1	1区: 2.3~3.3倍 2区: 14倍以下  脂質含有率 開始前 4.32% 終了後 4.23%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	11
1762	3',6'-ビス(ジエチルアミノ)-スピロ[イソベンゾフラン-1(3H),9'-[9H] キサンテン]-3-オン (509-34-2) 5-3090 	審議済（難分解性） (平成18年7月21日) BOD: -3, -2, -2 (0)*2 TOC: 2, 0, 3 (1) HPLC: 1, 1, 1 (1)	6.63*1	1区: 0.91倍以下 2区: 9.1倍以下  脂質含有率 開始前 2.87% 終了後 1.94%	(難分解性) 高濃縮性では ない	なし	14

\*1 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値。

\*2 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

\*3 フラスコ振とう法による予備値。

整理番号 K-1823 (2-1254)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
DL-メチオニン		事業対象年度 平成19年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
(59-51-8)		試験期間 19.10.23~20.3.6		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{NH}_2 \\   \\ \text{CH}_3\text{-S-CH}_2\text{CH}_2\text{CHCOOH} \end{array}$ 分子式 $\text{C}_5\text{H}_{11}\text{NO}_2\text{S}$ 分子量 149.21		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 99.9% (HPLC)      外観 白色粉末 不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 0.1%は不明 溶解度(対水, その他) 対水 30.8g/L (20℃) 対メタノール 1g/L 以下 対アセトニトリル 1g/L 以下		試験結果	間接	BOD 72, 79, 92 (81)%	試験結果	間接	
			直接	TOC 78, 81, 86 (82)%		直接	
				HPLC 84, 89, 95 (89)%			
審査部会 第 79 回		審査部会 第 回		審査部会 第 回			
20年10月24日開催		年 月 日開催		年 月 日開催			
融点 測定不可 (黒色に変化)		1-オクタノール/水分配係数		判定		判定	
沸点 測定不可 (黒色に変化)		非解離状態にすることは困難であるため、測定不可		判定		判定	
蒸気圧 $2.11 \times 10^{-4}$ Pa 以下 (80℃)		加水分解性		備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・(汚泥+被験物質)系においてアンモニア態窒素の生成を確認した。 ・TODの算出はアンモニア態窒素で行った。 ・試験終了時において、(汚泥+被験物質)系のBOD曲線は緩やかな上昇傾向にあった。 ・(汚泥+被験物質)系のHPLCクロマトグラム上に変化物ピークは検出されなかった。			
密度		pH4, 7, 9 加水分解性なし					
LD50		解離定数					
IRチャートの有無 (有)・無		pKa1 測定不可 pKa2 9.42 (滴定法)					
用途							
生産量							
試料 購入先 東京化成工業							
経済産業公報発表年月日		年 月 日					

\*1 東京化成工業添付資料による。

整理番号 K-1824 (5-1495)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
トリナトリウム=7-ヒドロキシ-8-(4-スルホナフチルアゾ)-1,3-ナフタレンジスルホナート [別名 アシッド レッド-18] (2611-82-7)		事業対象年度 平成19年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日	
構造式(示性式)・物理化学的性状		試験期間 19.11.15~20.2.29		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .	
<p>分子式 <math>C_{20}H_{11}N_2Na_3O_{10}S_3</math> 分子量 604.47</p>		試験装置 (標)・揮		試験装置 標・揮		試験装置 標・揮	
		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
純度*1 94.7% 不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 4.2% 不明有機成分 5成分合計 1.1% (各成分 1%未満)		試験結果 間接		試験結果 間接		試験結果 間接	
		BOD 3, 5, -1 (2)%					
		試験結果 直接		試験結果 直接		試験結果 直接	
外観 赤色粉末 溶解度(対水, その他) 対水 300g/L以上(20℃) 対メタノール 10g/L以上		TOC 1, 2, 2 (2)%					
融点 測定不可(200℃付近から変色し黒色に変化する) 沸点 測定不可(200℃付近から変色し黒色に変化する) 蒸気圧 $2.14 \times 10^{-5}$ Pa以下(気体流動法, 80℃) 密度 LD50 IRチャートの有無 (有)・無		HPLC -1, 1, 0 (0)%					
加水分解性 pH4, 7, 9 加水分解性なし 解離定数		審査部会 第79回 20年10月24日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
用途		判定		判定		判定	
生産量		備考		備考		備考	
試料 購入先 東京化成工業 TCI-FC		1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。					
経済産業公報発表年月日 年 月 日		2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構					

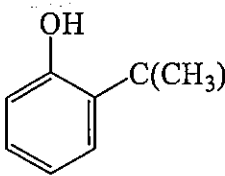
\*1 HPLCによる。



K-1824の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
トリナトリウム=7-ヒドロキシ-8-(4-スルホナフチルアゾ)-1,3-ナフタレンジスルホナート (2611-82-7)		5-1495 (K-1824)	標準(4W)2008年実施 BOD 3, 5, -1 (2) TOC 1, 2, 2 (2) HPLC -1, 1, 0 (0)		測定不可	>200 (96hr)	2008年実施 ばく露期間における濃縮倍率 1区(474 µg/L) : ≤0.55 2区(47.4µg/L) : ≤5.6 脂質含有率 開始前 3.92% 終了後 4.65%	
リアクティブブラック-5 (17095-24-8)		5-3012 (K-418)	標準(4W)1998年実施 BOD 2, 3, 8 (4) TOC 12, 8, 8 (9) HPLC 97, 96, 95 (96) 一部変化し、4-アミノ-5-ヒドロキシ-3,6-ビス[4-(ビニルスルホニル)フェニルアゾ]-2,7-ナフタレンジスルホン酸を生成した。	難分解性 (1998)	1983年実施 -4以下 (フラスコ振とう法)	>1000 (48hr)	1983年実施 1区(2 mg/L) : <1.1 2区(0.2mg/L) : <11 脂質含有率 4.7%	高濃縮性 ではない (1983)
ダイレクトブラック-154 (37372-50-2)		5-1391 (K-404)			測定不可	135 (48hr)	1981年実施 1区(1 mg/L) : 8.1~22 2区(0.1mg/L) : 49 ~66 脂質含有率 5.4%	高濃縮性 ではない (1981)
ダイレクトブルー-15 (2429-74-5)		5-1286 (K-1569)	標準(4W)2002年実施 BOD 0, 3, 9 (4) TOC 3, 0, 1 (1) HPLC 2, 1, 2 (2)	難分解性 (2002)	0.71*		類似物質から類推	高濃縮性 ではない (2002)
ダイレクトブラック-38 (1937-37-7)		5-1370 (K-1570)	標準(4W)2002年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2002)	4.90*		類似物質から類推	高濃縮性 ではない (2002)

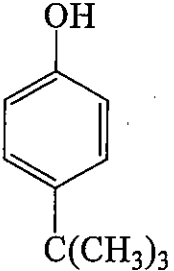
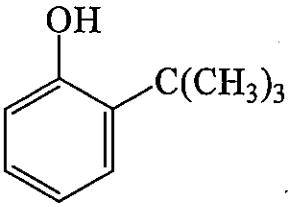
\* Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-81C (NEDO 348, 3-0503)		分解度試験		分解度試験		分解度試験		
2-tert-ブチルフェノール (88-18-6)		事業対象年度 平成18年度		契約 年 月 日		契約 年 月 日		
		試験期間 18. 5. 23~18. 8. 3		試験期間 . . . ~ . . .		試験期間 . . . ~ . . .		
		試験装置 (標) ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		試験装置 標 ・ 揮		
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状    分子式 C <sub>10</sub> H <sub>14</sub> O      分子量 150.22		試験濃度		試験濃度		試験濃度		
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L		
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L		
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間		
		試験結果	間接	BOD -3, -4, -4 (0) %	試験結果	間接		試験結果
直接	TOC 35, 40, 25 (33) % HPLC 32, 39, 23 (31) %		直接			直接		
純度*1 99.9% (毛管カラム GC)	外観 黄色澄明の液体	審査部会 第66回 19年 7月27日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		
不純物*1 (物質名, 含有率) 水分 0.01% 残り 0.09%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水*2 700 mg/L (25℃) 対メタノール 10 g/L 以上	判定 難分解性		判定		判定		
融点*3 -7℃	1-オクタノール/水分係数 log Pow = 3.74 (pH4.0) (フラスコ振とう法による予備値)	備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%  ※試験液を直接分析機器に導入。  2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構  3. 特記事項 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。  ・被験物質の一部が試験液から炭酸ガス吸収剤に移行した。  ・(水+被験物質)系及び(汚泥+被験物質)系の試験液・炭酸ガス吸収剤のGC分析において、クロマトグラム上に変化物ピークは認められなかった。		備考				
沸点*3 224℃								
密度*1 0.984g/cm <sup>3</sup> (20℃)								
LD50*4 440 mg/kg (oral, rat)								
IRチャートの有無 (有) ・ 無	安定性*4 光により変質する。 解離定数*2 pKa = 10.28							
用途*5 中間物、洗剤等								
生産量*5 (16年) 製造及び輸入:3-503として10,000~100,000 t未滿								
試料 購入先 和光純薬工業 和光一級								
経済産業公報発表年月日	年 月 日							

\*1 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Physical Properties Database (Jan. 2000) (Syracuse Research Corporation)による。  
 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。 \*4 和光純薬工業 製品安全データシート (2006/4)による。  
 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成19年度					濃縮度試験					毒性試験 年月日			
試験期間 20. 1. 21 ~ 20. 3. 31					試験期間 ~								
試験装置 (標)・揮 LC50値 3.54 mg/L (96hr) 魚種 (ヒメダカ)					試験装置 標・揮 LC50値 mg/L ( hr) 魚種 ( )					依 頼			
水槽設定濃度 (μg/L)					水槽設定濃度 ( )								
		分散剤					分散剤			経過			
被験物質		ジメチルスルホキシド			被験物質								
第1濃度区	20	50000			第1濃度区								
第2濃度区	2	50000			第2濃度区								
第3濃度区					第3濃度区								
濃縮倍率 脂質含有率 開始前 4.15% 終了後 3.77% 魚種 (コイ)					濃縮倍率 脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種 ( )								
		8日後	10日後	15日後	21日後	28日後							
第1	水槽濃度 (μg/L)	20.3	20.7	20.3	20.5	20.8	第1	水槽濃度 ( )					
	倍率	85	40	48	73	74	第1	倍率					
第2	水槽濃度 (μg/L)	2.05	2.07	2.10	2.06	2.05	第2	水槽濃度 ( )					
	倍率	78	80	75	63	79	第2	倍率					
第3	水槽濃度 ( )						第3	水槽濃度 ( )					
	倍率						第3	倍率					
審査部会 第79回 20年 10月 24日 開催					審査部会 第 回 年 月 日 開催								
判定結果					判定結果								
備考 [定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 62倍 第2濃度区 78倍 [回収率] [定量下限濃度] 試験水 96.0% 試験水 第1濃度区 2.0 μg/L 第2濃度区 0.20 μg/L 供試魚 82.8% 供試魚 37ng/g [実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構					備考								

K-81Cの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
<i>p-tert</i> -ブチル フェノール (98-54-4)		3-0503 (K-81)	標準(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 5, 3 (4) G C 4, 1 (3) U V(273nm) 4, 4 (4) 逆転(2W) 1975年実施 BOD 0, 0 (0) TOC 2, 0 (1) G C 0, 0 (0) U V(274nm) 0, 0 (0)	難分解性 (1975)	1996年実施 3.29 (フラスコ振とう法)	4.0 (48hr)	1976年実施 1区(40µg/L): 20~43 2区(4µg/L): <48~88  脂質含有率 -	高濃縮性 ではない (1976)
<i>o-tert</i> -ブチル フェノール (88-18-6)		3-0503 (K-81C)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -4, -4 (0)* TOC 35, 40, 25 (33) HPLC 32, 39, 23 (31)	難分解性 (2007)	2007年実施 3.74 (フラスコ振とう法 による予備値)	3.54 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(20µg/L): 62 2区(2µg/L): 78  脂質含有率 開始前 4.15% 終了後 3.77%	

\* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。



整理番号 K-663A (NEDO 10, 2-0184)		分解度試験		分解度試験		分解度試験	
ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウム=クロリド (61789-80-8)		契約	13年 3月 28日	契約	年 月 日	契約	年 月 日
		試験期間	14. 2. 4~14. 4. 4	試験期間	. . . ~ . . .	試験期間	. . . ~ . . .
		試験装置	Ⓒ・揮	試験装置	標・揮	試験装置	標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状  $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\   \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+(\text{CH}_2)_n-\text{CH}_3 \\   \\ (\text{CH}_2)_n-\text{CH}_3 \end{array} \quad \text{Cl}^-$ <p style="text-align: center;">n=13~17</p>		試験濃度		試験濃度		試験濃度	
		被験物質 100 mg/L		被験物質 mg/L		被験物質 mg/L	
		汚泥 30 mg/L		汚泥 mg/L		汚泥 mg/L	
		本試験期間 4 週間		本試験期間 週間		本試験期間 週間	
組成式 C <sub>39.53</sub> H <sub>87.93</sub> Cl <sub>1.00</sub> N <sub>1.08</sub> O <sub>1.19</sub> (元素分析による)		試験結果	間接	BOD -3, -3, -2 (0) %	間接		間接
			直接	HPLC 17, 17, 17 (17) %	直接		直接
純度*1 主成分 91.4%	外観*2 白色フレーク状固体	審査部会 第13回 14年 4月 23日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催		審査部会 第 回 年 月 日開催	
不純物*1 (物質名, 含有率) モノ(水素化牛脂)トリメチルアンモニウム=クロリド 2.1% イソプロピルアルコール 2.7% 水分 1.9% 遊離アミン 1.7% アミン塩酸塩 0.2% 灰分(食塩分) 0.01%	溶解度(対水, その他) 対水*3 ピーク1 7.00μg/L (25℃) ピーク2 7.59μg/L (25℃) ピーク3 6.91μg/L (25℃) 含有率が不明なため補正なしの値	判定 難分解性		判定		判定	
融点*2 110.0℃	対クロロホルム*2 10 g/L 以上	備考 1. 回収率 (水+被験物質)系 97.2% (汚泥+被験物質)系 95.0% 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・提供試料の被験物質の純度が低いため、有機物質濃度として100 mg/Lになるように添加した(有機物質含量 100%)。 ・TODは組成式から算出した。 ・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。 ・被験物質は汚泥に吸着することを確認した。		備考			
沸点*2 測定不可(191℃で黄褐色に変化)	1-オクタノール/水分分配係数 対象外						
密度*2 0.964 g/cm <sup>3</sup> (25℃)							
LD <sub>50</sub> *3 >2,000 mg/kg (oral, rat)	安定性						
IRチャートの有無 (有)・無							
用途*4 石鹸、洗剤、殺虫剤、殺菌剤、防虫剤、防腐剤、防臭剤、防かび剤、触媒、その他							
生産量*4 (16年) 製造及び輸入: 1,000~10,000 t 未満							
試料 提供試料							
経済産業公報発表年月日	年 月 日						

\*1 提供添付資料による。 \*2 提供試料として。 \*3 International Uniform Chemical Information Database (European Chemicals Bureau Existing Chemicals) (Edition 2-2000)による。 \*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験 事業対象年度 平成19年度

試験期間 19. 2. 4 ~ 20. 3. 31

試験装置 (標)・揮 LC50値 >1.00mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)

水槽設定濃度 (μg/L)

	被験物質	分散剤		
		テトラヒドロフラン	HCO-40	N,N-ジメチルホルムアミド
第1濃度区	0.457	100	25	20000
第2濃度区	0.0457	10	2.5	20000
第3濃度区				

濃縮倍率 脂質含有率 開始前 3.04% 終了後 3.38% 魚種(コイ)

	ピーク1	8日後						ピーク2	8日後						ピーク3	8日後					
		13日後	18日後	26日後	28日後	32日後	13日後		18日後	26日後	28日後	32日後	13日後	18日後		26日後	28日後	32日後			
第1	水槽濃度 (μg/L)	0.403	0.449	0.463	0.420	0.427	0.395	水槽濃度 (μg/L)	0.433	0.467	0.427	0.458	0.486	水槽濃度 (μg/L)	0.431	0.461	0.427	0.459	0.460		
	倍率	97	180	210	120	150	120	倍率	84	150	120	79	94	倍率	51	71	51	45	47		
第2	水槽濃度 (μg/L)	0.0422	0.0411	0.0424	0.0424	0.0431	0.0405	水槽濃度 (μg/L)	0.0449	0.0432	0.0438	0.0433	0.0473	0.0474	水槽濃度 (μg/L)	0.0441	0.0449	0.0427	0.0460	0.0464	0.0464
	倍率	230	610	470	290	210	260	倍率	140	430	440	200	160	190	倍率	84	210	310	120	88	110
第3	水槽濃度 ( )							水槽濃度 ( )							水槽濃度 ( )						
	倍率							倍率							倍率						

審査部会 第79回 20年 10月 24日 開催

判定結果

備考	備考	備考
[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 130倍 第2濃度区 280倍	[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 85倍 第2濃度区 190倍	[定常状態における濃縮倍率] 第1濃度区 45倍 第2濃度区 110倍
[回収率] [定量下限濃度] 試験水 90.0% 試験水 第1濃度区 0.023 μg/L 第2濃度区 0.0023 μg/L	[回収率] [定量下限濃度] 試験水 86.9% 試験水 第1濃度区 0.026 μg/L 第2濃度区 0.0026 μg/L	[回収率] [定量下限濃度] 試験水 89.7% 試験水 第1濃度区 0.025 μg/L 第2濃度区 0.0025 μg/L
供試魚 76.9% 供試魚 1.4ng/g	供試魚 79.3% 供試魚 1.4ng/g	供試魚 97.2% 供試魚 1.2ng/g

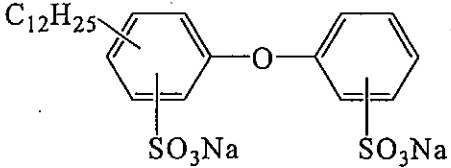
部位別試験(濃縮倍率) <参考値>  
 第1濃度区 ピーク2 外皮 340, 360 ピーク3 外皮 350, 350 第2濃度区  
 ピーク1 外皮 250, 250 その他 56, 52 その他 37, 34 ピーク1 外皮 1000, 1100 ピーク2 外皮 2000, 2500 ピーク3 外皮 3600, 3700  
その他 170, 150 その他 110, 99 その他 170, 160

[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構

K-663Aの類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド (7173-51-5)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\   \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+-\text{(CH}_2\text{)}_9-\text{CH}_3 \text{ Cl}^- \\   \\ \text{(CH}_2\text{)}_9-\text{CH}_3 \end{array}$	2-0184 (K-663B)	標準(4W) 2007年実施 BOD -3, -2, -2 (0)* LC-MS 0, -1, -1 (0)*	難分解性 (2007)	対象外	0.707 (96hr)	2007年実施 1区(5 µg/L) : 54~180 2区(0.5µg/L) : 47~95  脂質含有率 開始前 3.75% 終了後 5.79%	高濃縮性 ではない (2007)
セチルトリメチルアンモニウムブロミド (57-09-0)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\   \\ \text{C}_{16}\text{H}_{33}-\text{N}^+-\text{CH}_3 \text{ Br}^- \\   \\ \text{CH}_3 \end{array}$	2-0184 (K-663)	標準(4W) 1984年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 21, 16, 14 (17) HPLC 19, 19, 19 (19) VIS(607nm) 0, 0, 0 (0)	難分解性 (1984)	測定不可	0.320 (48hr)	1993年実施 1区(0.05mg/L) : 407~741 2区(0.005mg/L) : 444~677  脂質含有率 3.9%	高濃縮性 ではない (1993)
ビス(水素化牛脂)ジメチルアンモニウムクロリド (61789-80-8)	$\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\   \\ \text{H}_3\text{C}-\text{N}^+-\text{(CH}_2\text{)}_n-\text{CH}_3 \text{ Cl}^- \\   \\ \text{(CH}_2\text{)}_n-\text{CH}_3 \\ n=13\sim 17 \end{array}$	2-0184 (K-663A)	標準(4W) 2002年実施 BOD -3, -3, -2 (0)* HPLC 17, 17, 17 (17)	難分解性 (2002)	対象外	>1.00 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 ピーク1 1区(0.457 µg/L) : 130 2区(0.0457µg/L) : 280 ピーク2 1区(0.457 µg/L) : 85 2区(0.0457µg/L) : 190 ピーク3 1区(0.457 µg/L) : 45 2区(0.0457µg/L) : 110  脂質含有率 開始前 3.04% 終了後 3.38%	

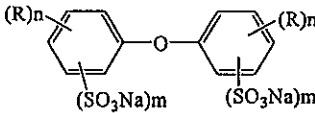
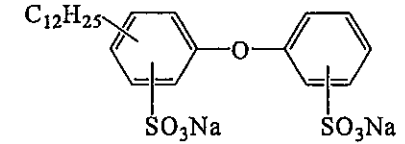
\* 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

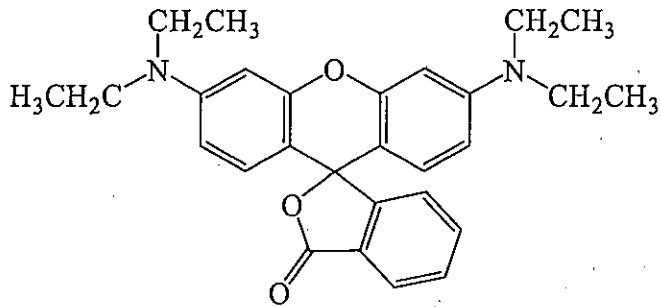
整理番号 K-1638 (NEDO 205, 3-1968)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ドデシルジフェニルオキシジスルホン酸ナトリウム (28519-02-0)	事業対象年度 平成15年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 16. 2. 3~16. 5. 13	試験期間 ~	試験期間 ~
	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状    分子式 C <sub>24</sub> H <sub>32</sub> Na <sub>2</sub> O <sub>7</sub> S <sub>2</sub> 分子量 542.62	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
純度*1 ①34.9% ②34.3% 外観*3 黄褐色液体  不純物(物質名, 含有率) メタノール*1 ①1.2% その他の有機成分*1 ①12.2% ②12.8% (モノスルホン酸体及びジドデシル体と推定される) 水*2 ①48.9% ②50.1% (1%未満のメタノールを含む)  塩化ナトリウム*2 ①2.0% ②2.1% 硫酸ナトリウム*2 ①0.8% ②0.7%	試験結果	試験結果	試験結果
	間接 BOD 2, 2, 3 (2)% 直接 HPLC 5, 5, 4 (5)%	間接	間接
溶解度(対水, その他) 対水 100g/L 以上 (25℃) 対メタノール 2000 mg/L 以上*3	審査部会 第34回 16年 5月28日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
融点*2 -5℃以下 比重*2 d <sub>20</sub> 約1.16 LD <sub>50</sub> *2 710 mg/kg (経口, ラット) IRチャートの有無 (有)・無 用途 生産量*4 (16年) 製造及び輸入:3-1968として100~1,000 t未満 試料 提供試料 経済産業公報発表年月日 年 月 日	1-オクタノール/水分配係数 対象外 安定性 備考 1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。 2. 実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構 3. 特記事項 ・提供試料中の不純物が基礎培養液中で一部不溶化したため、TOCによる分解度は算出しなかった。	判定 難分解性 備考	判定 備考

\*1 HPLCによる。 \*2 提供添付資料による。 \*3 提供試料として。 ①分解度試験 ②濃縮度試験 \*4 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。



K-1638の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
アルキルジフェニル エーテルスルホン酸 塩 (-)	 <p>アルキル基部分の 炭素数分布 C<sub>10</sub> 1%以下 C<sub>11</sub> 13~19% C<sub>12</sub> 67~73% C<sub>13</sub> 9~15% C<sub>14</sub> 1%以下</p> <p>n=0~1 m=0~1</p>	9-1958 (K-396)	標準(2W) 1980年実施 BOD 2, 2, 3 (2) TOC 19, 22, 18 (20) U V(238nm) 17, 19, 17 (18)	難分解性 (1980)	測定不可	3.11 (48hr)	1985年実施 1区(250µg/L) : <0.6~4.9 2区(25µg/L) : <6.3~40 脂質含有率 4.0%	高濃縮性 ではない (1985)
ドデシルジフェニル オキシドジスルホン 酸ナトリウム (28519-02-0)		3-1968 (K-1638)	標準(4W) 2004年実施 BOD 2, 2, 3 (2) HPLC 5, 5, 4 (5)	難分解性 (2004)	対象外	1.77 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(13.7µg/L) : 2.7 ばく露期間における濃縮倍率 2区(1.37µg/L) : ≤14 脂質含有率 開始前 4.32% 終了後 4.23%	

整理番号 K-1762 (NEDO 337, 5-3090)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
3', 6'-ビス(ジエチルアミノ)スピロ[イソベンゾフラン-1(3H), 9'-[9H]キサンテン]-3-オン (509-34-2)	事業対象年度 平成17年度	契約 年 月 日	契約 年 月 日
	試験期間 17. 8. 26 ~ 17. 10. 11	試験期間 . . . ~ . . .	試験期間 . . . ~ . . .
	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮	試験装置 標 ・ 揮
構造式 (示性式) ・ 物理化学的性状  分子式 C <sub>28</sub> H <sub>30</sub> N <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 分子量 442.55	試験濃度	試験濃度	試験濃度
	被験物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
	試験結果 間接 BOD -3, -2, -2 (0) % 直接 TOC 2, 0, 3 (1) % HPLC 1, 1, 1 (1) %	試験結果 間接 直接	試験結果 間接 直接
純度*1 ①98.4% ②99.6%	外観 濃い桃色粉末	審査部会 第 56 回 18年 7月 21日開催	審査部会 第 回 年 月 日開催
不純物*1 (物質名, 含有率) ①被験物質のエチル基の1つが水素になったもの 1.6% ②残り 0.4%は不明	溶解度 (対水, その他) 対水 851 mg/L (25°C) 対アセトニトリル 10 g/L 以上 対メタノール 10 g/L 以上	判定 難分解性	判定
融点 159.9°C	1-オクタノール/水分配係数 log Kow = 6.63*2	備考 1. 回収率* (水 + 被験物質) 系 100% (汚泥 + 被験物質) 系 100% ※試験液を直接分析機器に導入。	備考
沸点 350°C以上			
密度 1.206 g/cm <sup>3</sup> (25°C)	安定性	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	
LD50			
IRチャートの有無 (有) ・ 無		3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
用途			
生産量			
試料 購入先 MP Biomedicals, Inc.			
経済産業公報発表年月日 年 月 日			

\*1 HPLC 及び LC-MS による。

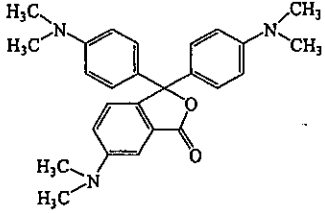
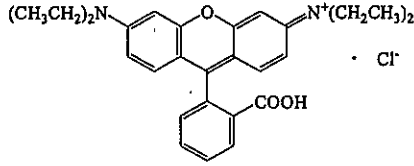
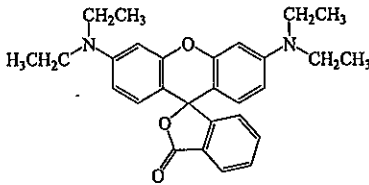
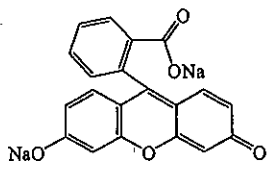
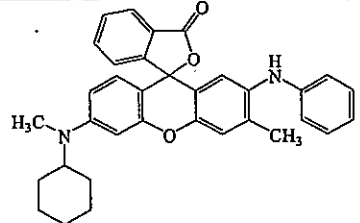
\*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

①分解度試験 ②濃縮度試験

濃縮度試験				事業対象年度 平成19年度				濃縮度試験				年 月 日				毒性試験			
試験期間				20. 2. 4 ~ 20. 3. 27				試験期間				~				依 頼	年 月 日		
試験装置 (標)・揮		LC50 値 >10.0 mg/L (96hr) 魚種 (ヒメダカ)		試験装置 標・揮		LC50 値		mg/L ( hr) 魚種 ( )						経過					
水槽設定濃度 (µg/L)								水槽設定濃度 ( )											
		被験物質		分散剤						被験物質		分散剤							
				HCO-40		N,N-ジメチルホルムアミド													
第1濃度区		10		50		50000		第1濃度区											
第2濃度区		1		5		50000		第2濃度区											
第3濃度区								第3濃度区											
濃縮倍率				脂質含有率 開始前 2.87% 終了後 1.94% 魚種 (コイ)				濃縮倍率				脂質含有率 開始前 % 終了後 % 魚種 ( )							
		9日後		13日後		15日後		20日後		28日後					日後		日後		
第1	水槽濃度 (µg/L)		10.4		10.5		9.86		9.83		10.1		第1		水槽濃度 ( )				
	倍率		≤0.91		≤0.91		≤0.91		≤0.91		≤0.91			倍率					
第2	水槽濃度 (µg/L)		1.06		1.04		1.00		1.01		0.998		第2	水槽濃度 ( )					
	倍率		≤9.1		≤9.1		≤9.1		≤9.1		≤9.1			倍率					
第3	水槽濃度 ( )												第3	水槽濃度 ( )					
	倍率													倍率					
審査部会 第79回 20年 10月 24日 開催								審査部会 第 回 年 月 日 開催											
判定結果								判定結果											
備考								備考											
[ばく露期間における濃縮倍率] 第1濃度区 0.91倍以下 第2濃度区 9.1倍以下																			
[回収率] [定量下限濃度]																			
試験水 97.8%				試験水 第1濃度区 0.18 µg/L 第2濃度区 0.018 µg/L															
供試魚 91.9%				供試魚 9.3ng/g															
[実施機関] 財団法人 化学物質評価研究機構																			



K-1762の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
3,3-ビス( <i>p</i> -ジメチル アミノフェニル)-6-ジ メチルアミノフタリド (1552-42-7)		5-0129 (K-1338)	標準(4W) 1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 4, 0 (1)	難分解性 (1997)	1999年実施 5.27 (ブラスコ振とう油)	>80.0 (48hr)	1999年実施 1区(50µg/L): 500~1300 2区(5µg/L): 636~1670 脂質含有率 4.1%	高濃縮性 ではない (1999)
2-(3-ジエチルイミニ オ-6-ジエチルアミノ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9-イ ル)安息香酸=クロリド (3375-25-5)		5-1973 5-4056 (K-847)	標準(4W) 1987年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 3, 2, 0 (2) VIS(555nm) 8, 8, 5 (7)	難分解性 (1987)	1987年実施 1.9~2.0	33.9 (48hr)	1987年実施 1区(100µg/L): <0.2 2区(10µg/L): <1.7 脂質含有率 3.9%	高濃縮性 ではない (1987)
3',6'-ビス(ジエチル アミノ)-スピロ[イソ ベンゾフラン-1(3 <i>H</i> ), 9'-[9 <i>H</i> ]キサンテン]- 3-オン (509-34-2)		5-3090 (K-1762)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -2, -2 (0)*1 TOC 2, 0, 3 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)	難分解性 (2006)	6.63*2	>10.0 (96hr)	2008年実施 ばく露期間における濃縮倍率 1区(10µg/L): ≤0.91 2区(1µg/L): ≤9.1 脂質含有率 開始前 2.87% 終了後 1.94%	
ジナトリウム=2-(6- オキシド-3-オキソ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9- イル)-ベンゾアート (518-47-8)		5-1416 (K-1825)	標準(4W) 2008年実施 BOD -2, 0, 1 (0)*1 TOC 0, 1, 1 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)	難分解性 (2008)	測定不可	>200 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.46 mg/L): ≤0.27 2区(0.046mg/L): ≤2.7 脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14%	高濃縮性 ではない (2008)
3-( <i>N</i> -シクロヘキシ ル- <i>N</i> -メチルアミノ)- 6-メチル-7-アニリ ノフルオラン (55250-84-5)		5-3631 (K-1655)	標準(4W) 2003年実施 BOD -8, -6, -3 (0)*1 HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2003)	8.60*2	>15.0 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(10µg/L): 2400 2区(1µg/L): 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	高濃縮性 ではない (2005)

\*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

\*2 Kowwin v 1.67 による計算値。